

事業名	平成28年度昭島市環境連携交流事業
実施日	平成28年7月30日～8月1日
参加者	21名（一般公募市民13名・ 実行委員4名・市職員4名）
行程	1日目：東京駅⇒盛岡駅⇒龍泉洞 ⇒ふれあいらんど岩泉（宿泊）
	2日目：早坂高原（育樹祭参加） ⇒岩泉町小本地区等視察
	3日目：ホテル⇒道の駅⇒東京駅
感想・反省	
	1．情報の伝達不足があった
	① 東京駅の集合場所に今回お世話になる 旅行会社の旗を職員が持って立ったが、 事前説明会では旗の話はなく、迷った 人もいた。
	② ブルートレインに宿泊する時、前もつ て部屋割りの説明はなく、各自が任意 で場所を決めたが、後に女性たちの部 屋が決まり、再び部屋を移動すること になり混乱した。

2 . 参加者を紹介したほうが良かった

1日目の交流会は、暗くて狭い場所で行われた。岩泉町側の参加者はどのような方たちがいたのか、紹介もなく話のきっかけを掴みにくかった。

ツリークライミングのメンバーは前に並び紹介されたが、我々は紹介されなかった。せめて、部長が挨拶している時に我々も前に並んで紹介して欲しかった。育樹祭の時は、町長から我々を紹介していただき、昼食の時地元の方達に話しかけられ交流が図れた。

3 . 初参加者を増やしたい

今回の参加者の半数はリピーターだった。交流の輪を広げるためには、初参加者を増やさなければ市民の岩泉町の理解が深まりません。何とか工夫して初参加者を増やしたいものです。

4 . 無事に終了出来て感謝しています

私も実行委員の一人として、多少は

気を使いましたが、参加者皆様のご理解とご協力で、また、環境課の方々には企画段階から大変なお骨折りを頂きお陰様で無事計画通り終了出来たことに感謝しています。

5 . アンケートの発信者が委員長は？

交流事業は行政間同士の事業であり市が主体であります。アンケートと報告書の依頼発信者は、実行委員長ではなく、環境課長か計画推進係が本来と思われれます。今回の事業が市民主体の実行委員会方式が理想だとは思いますが今後更なる交流事業を行った後の先の話になると思います。

以上

